

令和7年度 研究全体構想

学校教育目標

地域と関わり 一歩踏み出し 自ら学ぶ子どもの育成

研究主題

自ら考え、共に学び合う子どもの育成
～「教科らしさ」と「成章らしさ」の深まりを目指して～

目指す成章っ子の姿

- 自分の考えをもち、課題解決に向かって主体的に学ぶ子ども
- 自他の考えをつなぎ、学び合いを通して考えを広げ深める子ども

研究の仮説

- 1 必要感のある学習課題や見通しのもたせ方、振り返りなどの手立てを工夫することで、自分の考えをもち、主体的に学びに向かう子どもを育てることができるであろう。
- 2 「深い学び」の具体的な姿を明確にした学び合い活動や教師によるファシリテートを工夫することで、考えを広げ深めることができるであろう。

具体的な施策と今年度の重点◎

施策1

★「できた」「分かった」が 実感できる授業づくり

- 働かせたい見方・考え方の明確化
- 子どもの問いを引き出し、解決への意欲を高める課題設定
- ◎ねらいを明確にした単元構成と授業構想（教科らしさを生かした成章スタンダード）
- ◎学びの自覚を高める振り返り

施策2

★「つなげる」「深める」 学び合いの実践

- 発達段階や児童の実態に応じた教師の関わり
- ◎学習リーダーの活用（役割の明確化）
- ◎学び合う集団づくり
- ◎「チャレンジタイム」のファシリテート

★学びを支える日常的な取組

(1)基礎的な知識・技能の確実な習得

- ・課題解決型の学習スタイル授業構成
- ・学習習慣の定着（話し方名人・聞き方名人、ハンドサイン、ノートの使い方）
- ・風の子テスト（国語・算数）の全校実施
- ・語彙の拡充（国語辞典の活用、音読の継続、読書指導）

(2)自他を認め合う学級づくり

- ・失敗や間違いから学び合う温かな雰囲気づくり
- ・友達のよさを認め合う学級経営